ICTを活用した転倒・転落対策
～パソコンへのモニターカメラ表示の試み～

南病棟4階：循環器内科・循環器外科病棟

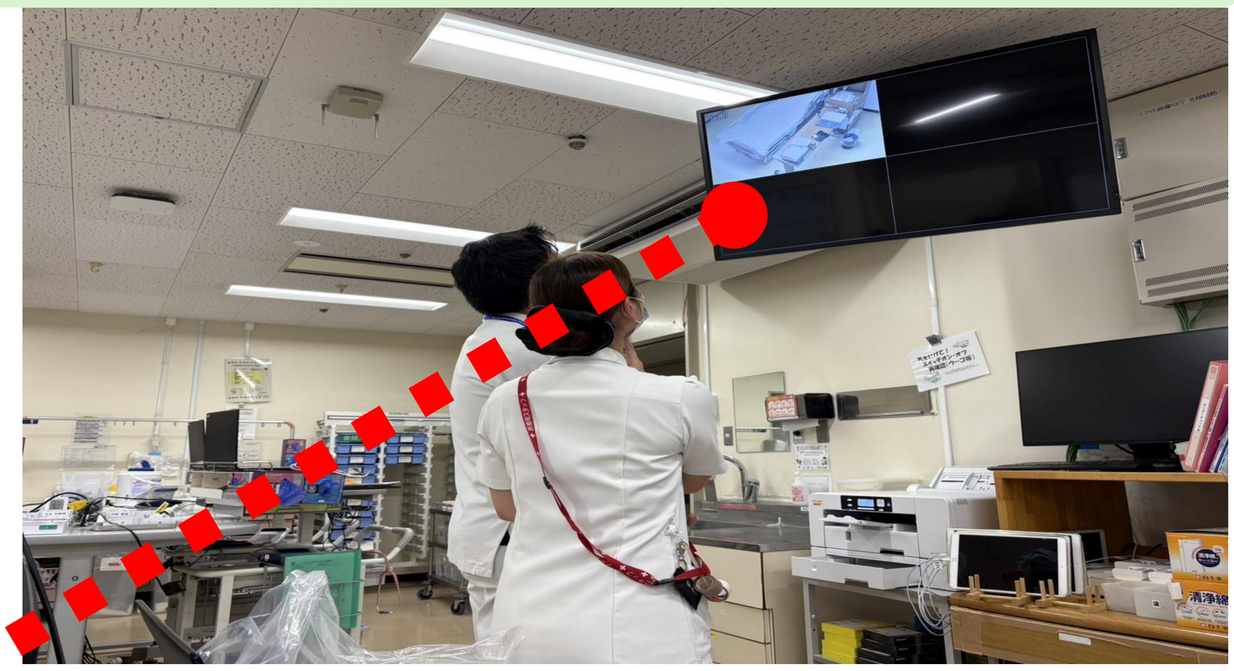
循環器病棟の特徴

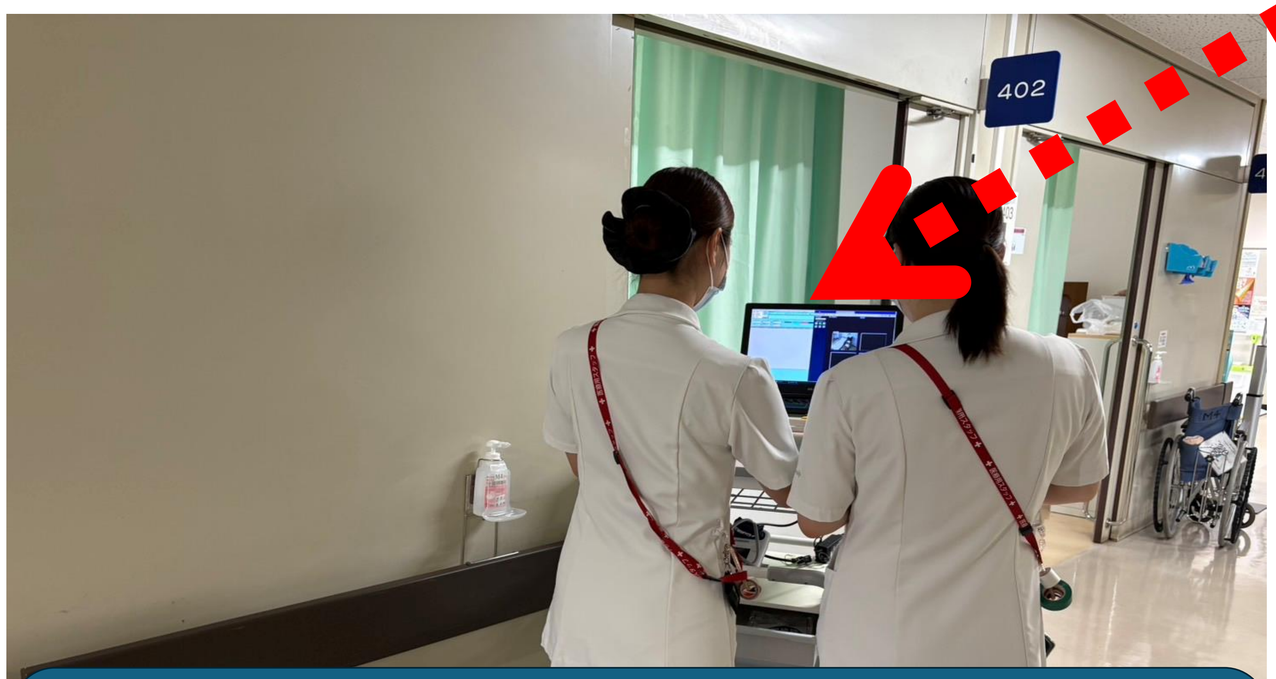
- 心臓の病気による血圧の変化、不整脈や手術後の筋力低下等による足元のふらつきで、転んでしまう危険があります。
- 血を固まりにくくする薬を飲んでいる方も多く、怪我には特に注意が必要です。

リスクが高い患者さんは同意の元、ステーションでモニター観察しています

- ステーションから離れるとモニターが見られない

- 夜間・休日など、スタッフの人数が限られる時間帯は、より効率的な見守りが求められます





- ステーションのモニター映像をパソコンに転送
- 巡視時など、モニター映像の持ち運びが可能
- ステーション以外でも病室の様子をリアルタイムに確認

患者さんのプライバシーには十分に配慮しています

巡視中もモニターが見られるので安心です

ICTの活用に加え、スタッフの確かな目で、これからも患者さんの安全を守り続けます